

緊急地震速報とは、地震による強い揺れを直前(数秒〜数十秒前)にお知らせすることを目的とした、気象庁による新しい情報伝達手段で、10月1日頃から提供が開始される予定です。

速報は、テレビやラジオなどの報道機関から発信されます。この速報の適切な活用によって、列車やエレベーターを素早く制御させて危険を回避したり、会社や家庭でいち早く避難行動をとったりするなど、地震による被害を最小限に抑えることが可能になります。

しかし一方で、速報を受けた時に、どのような行動

10/1 スタート

緊急地震速報

〜強い揺れを直前にお知らせ〜

をとってよいか分からず、混乱や損害が発生する恐れもあります。下表を参考に、速報を正しく利用し、「周囲の状況に応じて、慌てずに、まず身の安全を確保すること」を心掛けてください。

また、速報をより有効に活用できるよう、次のとおり地震への備えを徹底してください。

①住宅・建物の耐震化 ②家具の転倒防止 ③備品の落下防止・ガラス等の飛散防止 ④安全な避難場所の確認 ⑤防災訓練の実施。

☎ 消防本部予防課 (☎231・0394)。

●家庭では

頭を保護し、丈夫な机の下などに隠れる／慌てて外に飛び出さない／火を消せる場合は火の始末を。火から離れている場合は無理に消火しない／扉などを開けて避難路を確保する

●人が大勢いる施設では

係員の指示に従う／落ち着いて行動し、慌てて階段や出口に走り出さない／つり下がっている照明等の下から避難した上で、頭を保護し、揺れに備えて身構える

●屋外(街)では

ブロック塀の倒壊等に注意する／看板や割れたガラスの落下に注意し、建物のそばから離れる／山やがけ付近では、落石・がけ崩れに注意する

●エレベーターでは

最寄りの階で停止させ、すぐに降りる

●列車・バスの中では

つり皮・手すりにしっかりつかまる

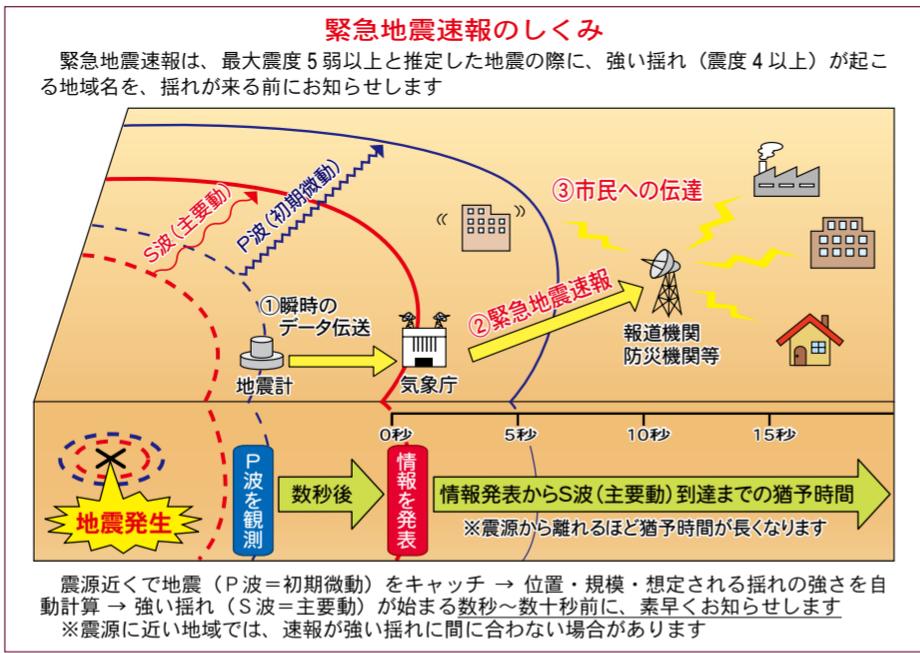
●自動車運転中は

後続の車が速報を知らない可能性もあるので、慌ててブレーキをかけない／ハザードランプを点灯し、周囲の車に注意しながら、徐々にスピードを落とす／揺れを感じたら、道路状況を確認し、安全な場所に移動して停止する

「家庭農園」では、利用者が愛情を注いだ野菜が大きく育っていました。種類の多さにもびっくり。青々とした葉と土、陽光

編集後記

に触れ、心が安らぐと同時に野菜作りへの興味がわいてきました。まずは野菜作りの入門書を探しに行こうかな。(す)



いにしへの技術に触れる



8月8日、「まが玉づくり」を実施。51人の子どもたちが、石を磨いてまが玉作りに挑戦しました。また同日開催の「矢じりづくり」には、12人が参加しました。

8月3日、有馬図書館で「一日図書館員」を実施。小学5、6年生のべ32人が、カウンターでの圖書の貸し出し・返却業務などを体験しました(7月27日〜8月7日のうち4日間)。



図書館の仕事体験



白石・海老名友好親善交流協会では、今年も姉妹都市「しろいし」訪問バスツアーを実施します。歴史と自然あふれる城下町「しろいし」を直接肌で感じてみませんか。今回のツアーでは、郷土料理を食べながら白石市民との交流も計画しています。

姉妹都市・白石市に興味のある方、温泉を楽しみたい方、多くの方の参加をお待ちしています。

▽日程 10月13日(土)〜14日(日) (1泊2日) ▽見学地 白石城・碧水園・蔵王のお釜等白石周辺の観光地を予定 ▽対象・定員 市内在住、在勤、在学の方・40人(応募多数の場合抽選) ※9月中旬に結果を返信がきで通知 ▽宿泊地 小原温泉(4人相部屋) ▽費用 1万5000円(※交流協会会員は1万3000円・小中学生は1万円(保護者同伴のこと)・未就学児は負担なし)。

申込 往復はがきに・氏名・住所・性別・年齢・電話番号を明記し、〒243-0492 市民協働課「しろいし」訪問バスツアー係へ。9月14日(金)必着。

※グループで参加希望の場合、代表者名で応募し、参加希望者全員の必要事項を明記してください。

☎ 市民協働課 (☎235・4797)。

姉妹都市「白石市」訪問ツアー